

## 憧れの政治家

福岡県立明善高等学校 三年 牛原 百世

私は最近18歳になり、6日後に行われる市長選挙を楽しみにしていました。しかし、投票は行われませんでした。立候補者が一人だったからです。少し残念だと思ったけれど、それよりも立候補者がそこまで少ないことに驚きました。政治家といえば地域を動かす重要な仕事で、テレビにもよく取り上げられて、知名度もあります。「なりたい人はいそうだと思っていたけれど、実際はどうなのだろう。」気になった私は、なりたい職業ランキングを片っ端から調べてみました。そして、サイト15個目にしてやっと初めて、政治家が90位にランクインしているのを見て、政治家の人気の無さを大きく実感することになりました。

政治家の職業としての魅力がないとどうなるか。立候補者が減ります。立候補者の少なさは、すなわち選択肢の少なさです。少ない選択肢の中で、自分に合う考えの政治家が現れることは稀でしょう。定数以下だと、投票にすらならず、有権者が政治に参加する機会は失われたも同然なのです。そんな選挙で、満足のいく人が当選するのでしょうか。そこで当選した政治家が、満足いく政策をしてくれるのでしょうか。結果、政治に期待できなくなり、投票率や政治家志望の人の数も減り、負のスパイラルに陥っているように思います。

つまり、政治家の職業としての魅力がない。これが根本の問題です。では、なぜ魅力を感じないのか。それを踏まえ、私達には何ができるのか。これを論題として話していきます。

まず、魅力を感じる人が少ないことについてです。改めて皆さんは、何を重視して仕事を選びますか。調べによると、年齢や人によって様々ではありますが、公務員やスポーツ選手、プログラマーなどの職業が、安定しているから、身近、かつこいいからなどの理由で近年人気となっていました。では、政治家にはそれがないのでしょうか。確かに政治家を務め続けられるかどうかは市民が決める側面があります。したがって、安定性があるとはいい難いでしょう。また、私達は彼らを画面越しに見るもののほうが多いです。だから、生活に関わっているとはいえ、その恩恵を身近に感じることは少ないかもしれません。

しかし、政治家のかつこよさについてはどうですか。浪漫があるとは思いませんか。重大で困難な課題に立ち向かい、多くの人を助け、よりよい社会を目指すことこそが彼らの職務です。スーパーヒーローのようではありませんか。

ところが、その良さが伝わっていません。皆さんは政治家と聞いて、何を真っ先に連想しますか。ニュースで流れてくる、失言や汚職など、ネガティブなことを想像した方も多くいらっしゃるでしょう。それは、私達が日頃から使っているSNSも、メディアも政治家の負の側面を伝えやすいからです。失言や汚職は多くの場合が事実だから、私達もそれを自然に受け取りますよね。世間でも大きく話題になります。

政治家を情けないものとして話題にする社会。これでは、政治家に憧れる人、応援したいと思う人も少なくなります。では、政治家をかつこいいものとしてみんなが応援する社会。これを目指すことが、政治家の魅力を高めることになりますよね。

そのために私達に何ができるか。その方法を、私なりに考えた「推し活をする」という観点から伝えたいと思います。日本では友達と政治家について話をするような様子はあまり見られません。一方、北欧やフランス、ドイツなど、一部ヨーロッパでは自分の支持する政治家について話することも多々あるそうです。自分のいいと思う政党、政治家について話す。これは、自分の推しているアイドルグループやメンバーについて話すのと大きな違いはありません。違うのは、ルックスやダンス、歌に憧れるのか、人間性や思想に憧れるのかということぐらいです。

推し活では、自分で積極的に情報を収集したり推しを応援したり友達と推しについて語り合ったりします。そうして興味関心を高めるのです。政治に関心がない人も、友達がそうやって楽しそうに話していると、自分も調べようと思うでしょう。推し活は、興味関心を感染させるのです。しかも、面白いことに友達から布教されたものを好きにならないケースがあります。私も経験したことのある話です。例えば、AKB48を友達からおすすめされたとします。しかし、その人が最終的に好きになるのは乃木坂46だったりするのです。これを政党に置き換えてみてください。友達が「A党が好きだ」というのを聞いて調べたものの、最後に良いと思ったものはB党だったという事が起こりうるのです。

つまり、一回その政治家や政党の一部に触れてみると、興味はそこだけにとどまらず、政治というカテゴリー全体に広がるということなのです。たしかに、誰を応援するかを強要してくる人もいるかも知れません。それによって様々なトラブルも生まれるでしょう。しかし、政治家が減っていく負のサイクルを止めるためには、みんなが気軽に政治家について語ることが必要です。

政治家はかつこいい職業です。私達が選ぶ、私達のリーダーです。みんなで応援しませんか。みんなで「推し活」しませんか。みんなが憧れませんか。